

【議案第1号】

令和7年度デマンドタクシー「あみまるくん」あいのり実証実験実施(案)について

阿見町地域公共交通計画に基づき、阿見町の現状や公共交通を把握、整理し、町の公共交通のあり方についての研究を行うため、標記実証実験の実施について同意を求める。

令和7年11月6日

阿見町地域公共交通活性化協議会
会長 千葉 繁

デマンドタクシー「あみまるくん」 あいのり実証実験実施計画（案）

令和7年度

令和5年度よりデマンドタクシー「あみまるくん」の輸送効率の向上および利用促進のために、「相乗り率」に着目し、その向上のための方策を検討し活性化協議会に報告してきた。

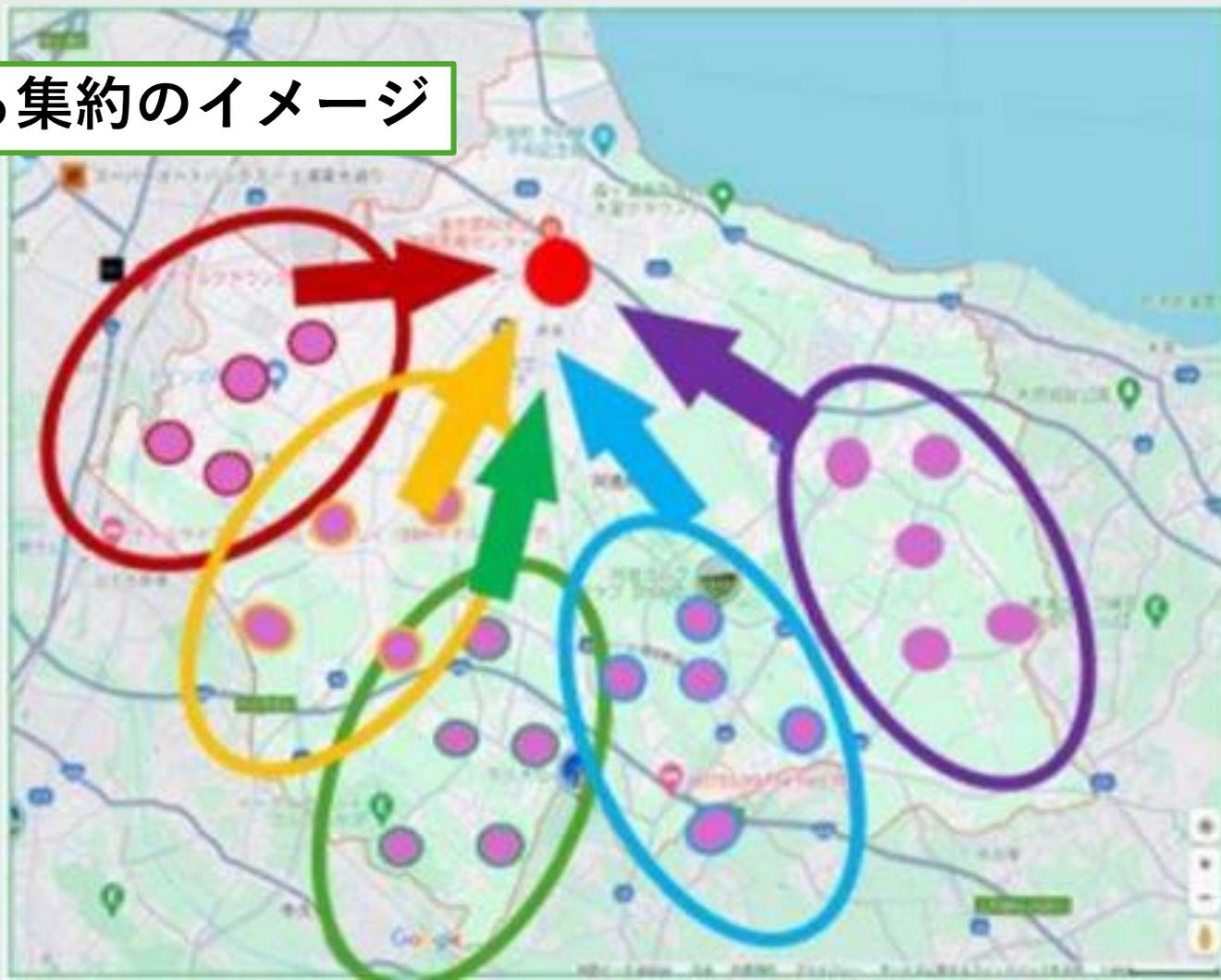
- ・ 令和5年度の主な研究内容
利用率が高い病院等への相乗り率向上方策を検討し、その効果について基礎的な分析を実施した。
- ・ 令和6年度の主な研究内容
病院等の利用者の意見を調査し、往路便に加え復路便の相乗り率向上方策を検討した。

こうした、これまでの研究成果を踏まえて、令和7年度は**移動方向が同じ利用者の乗車日時をまとめることで相乗り率を向上させるための実証実験**を行う。

2 実験の概要

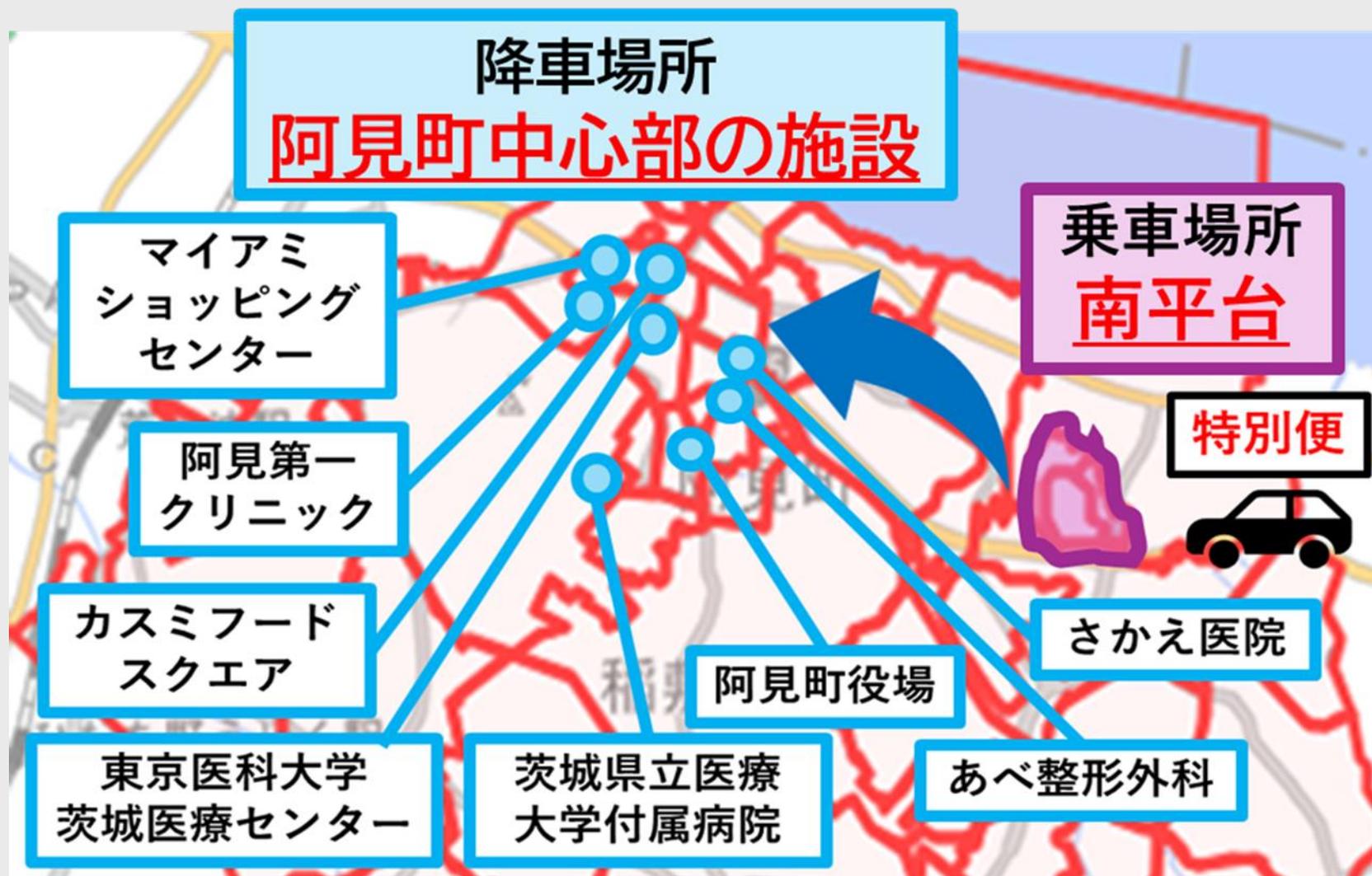
特定の地域から降車地となることが多い町中心部へと向かう利用者をまとめて一度に運ぶことにより、相乗り率を向上させることを目的とした**特別便**を運行する。

特別便による集約のイメージ



3 運行エリア①

乗車場所を南平台エリアとし、降車場所を東京医科大学茨城医療センターやショッピングセンターのある阿見町中心部エリアとする。



乗降場所を南平台エリアとした理由

- ・ 近隣に商業施設等の生活に必要な施設が不足していること
- ・ 路線バスの減便等により公共交通手段が不足していること
- ・ 他のエリアとの境界が利用者にとって比較的分かりやすいこと
- ・ 地形・道路環境から利用者をまとめてピックアップする運行が行いやすいこと
- ・ 地域から公共交通に関する要望が寄せられていること

降車場所を阿見町中心エリアとした理由

令和6年度のみみまるくんの利用実績から、最も降車回数が多い施設である東京医科大学茨城医療センターおよびその周辺施設を選択した。

※対象施設の近隣であれば指定していない施設での降車も可能とする

運行期間：令和7年12月頃～令和8年1月末ごろの2か月間(予定)

運行日時：毎週特定の曜日/運行時間：8:30~9:30(目安)

受付方法：早期予約期間よりオペレーターによる電話での受付

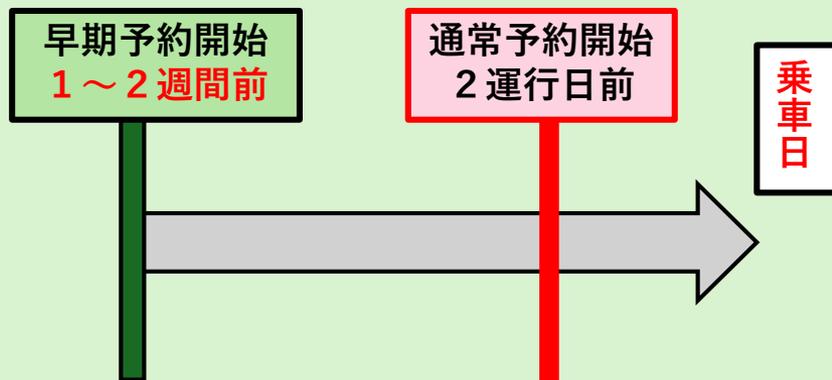
運行車両：運行している3台のうち1台を運行日時のみ充てる

特別便の運行日の例

月	火	水	木	金
11/17	18 運行日	19	20	21
24	25 運行日	26	毎週特定の曜日	
12/1	2 運行日	3	4	5
8	9 運行日	10	11	12
15	16 運行日	17	18	19

運行日を週1日1便とすることで集約による相乗り率向上を狙う

早期予約ができる期間



早期予約を可能とし、特別便を利用するインセンティブとする

利用状況を検証するとともに以下のようなヒアリング調査を検討している。

特別便に乗車した利用者への質問

- ・ 利用の目的
- ・ 早期予約を行ったタイミング
- ・ 特別便を知った、利用したいと思ったきっかけ
- ・ この外出行動の帰りの予約（移動手段）はどうしたのか
- ・ 特別便に参加しやすくなる要素とは

特別便を利用しない登録者への質問

- ・ 特別便を利用しない理由、ハードルは何か

ドライバーおよびオペレーターへの質問

- ・ 実験中に発生した業務上のトラブル、利用傾向の変化
- ・ 利用者が特別便に求める要素とは

その上で、実証実験の取り組み（特別便）が利用者へと浸透したフェーズへ進んだ場合に、発展的なオペレーションを実施したいと考えている。
(乗車エリアの追加、早期予約の受付オペレーションの変更など)